

通信

◎東京だより



田 中 生

肅啓、大正の御代も今茲に十五の新春を迎へ、瑞氣大空に満ち地には河水清らけく我が大御代に生を享けたる吾人の欣幸之に不過候、歳變り星移ること必ずしも冥土への距離を短縮するものとして悲觀するに及はず、吾人々類の發展道程に於ける人心の一新时期として生を樂み大杯を舉げ新年を祝福可致候。

此大御代に於ける民意を代表すべき帝國議會も舊臘二十五日を以て召集され、之より愈政治季節と相成候得共、政界の安否豫測を許さざるもの有之、政府與黨たる憲政會は

解散を期待するもの、如く裝ひ居候得共、實は好まざる解散を強ひらるゝことを苦痛とし何とかして此議會を切り抜けて度に相違無之、本黨にしても憲政會と妥協を遂げ恐るべき解散を避け度も此くては天下の輿望を失ふべきを以て探るべき手段の計畫に焦慮しつゝあるもの、如く被認候、併しながら兩者の此惱みは畢竟するに解散後の總選舉に自信を有せざると世間態を保持するが爲に外ならずして、亡び行かむとする既成政黨の惱として同情に堪へざるもの有之候、此兩者の惱を解決するのが幸か不幸かは知らざるも五

十一議會に於ける副産物にして、此議會が憲政會内閣の試金石なると同時に本黨の興廢を決すべきときと被存吾人の政治慾を唆らしめ申候。

此の如き重要時機なるを以て吾人は議會の形勢を左右すべき地位を占むる政友本黨が其の態度を慎重にし、公明正大なる行動に出でむことを希望致置候處、議會に於ける役員選舉に胚胎して俄然渺なからざる脱黨者を出し候は、從來の經過に鑑み當然とは申候もの、本黨の爲に惜む所に御座候、由來本黨内に在りし合同非同論者の軋轢は日を遂ふて露骨と相成、之が爲に同黨が憲政々友兩黨の爲に利用せられ世人も亦其の態度の曖昧を責め居りしとき、床次總裁は過去一年有半に亘る黨略上の苦痛を述べ、黨略を排し専ら國家本位に立脚し所信の邁進に力めたることを言ひ、今後と雖毫末も此態度を變更せず國策を重んじ術數を排して公明なる政治を行はむことを聲明し、是に依りて屢繰返されたる黨員の内輪喧嘩を戒めたる所に有之、國家本位の主義政策を以て邁進すと言ふは其の反面に於て憲政會とも

政友會とも妥協若は合同せざることを暗示し、更に進んで主義政策の合致する場合に在りては、黨略を顧慮する所なく憲政會たると政友會たるとを問はず相携へて主義政策の實現に邁進すべきことを表明するものにして、公黨としては此くあり度不在らざるべからざること、被存吾人は此聲明を以て本黨の爲贊辭を呈するに躊躇せざる所なりしに今は裏切られて其の然らざるを觀る寔に遺憾とする所に御座候。

或者は此脱黨騒は這般行はれたる若槻内相と床次總裁との會見の結果なりとし、分裂後の本黨は憲政會と合同せざるとも必ず妥協すべきことを申居、又夫れが當然なりと申居候得共、當日の會見内容は當事者たらざる吾人の與り知らざる所なるを以て揣摩臆測して公人の行動を批評すべきに無之、殊に新聞紙報道の如くむば内相が二三重要政策に付説明を爲し、床次氏は其の言ふ所を聴取したるに過ぎざる趣なるを以て、此會見に依り憲本提携の默契成りと爲し又は其の端緒を開きたりと爲すは當らざる義と被存候。

吾人は本黨が天下に宣言したる主義政策を知り、床次總

裁の此が實現に邁進すべきことの裏書を聞くを以て一部論者の言ふが如き見解を排するものに有之、未だ脱黨組の脱黨理由は承知せざるも若其の理由にして憲本の妥協提携に寄言するものとせば脱黨の早計なりしを惜むものに有之候少數黨たる本黨が此く脱黨者を出しいやが上に少數黨と相成候は聊か氣の毒の感なきに非ざるも、同志の強固なる結合に依つて所信に邁進するに於ては國民の同情亦之に集注して従來以上の黨勢を維持するに難からざるべく被存候、

併しながら夫れは、従來聲明したる主義政策を實現することとに依つて國民の寄與する同情に外ならざるを以て其の聲明を裏切らざることを肝要と可致、陰暗裡に政治取引を爲すが如きこと無之様希望して已まざる次第に御座候。

今期議會の運命は本黨が其の聲明を實現するや否やに依つて、解決さるべく従つて本黨を中心として憲政と同一方針に依る問題に就ては政府との衝突を避くることゝ爲り、反之政友と同一方針に依る政策に就ては或は議會の解散を觀るやも難計候、併しながら邊然たる内閣不信任案の如き

は憲政の發達したる今日有り得べからざることゝ被存候に付、不慮の事件の突發せざる以上問題の中心標的は税制の整理と義務教育費國庫負擔の増額とに關するものと被考、此問題に關する政友及本黨の態度如何に依り解散か否かを解決すべく候、何れにするも吾人の希望する所は唯だ其の所見を鮮明にして、各自の採用する主義政策の何れが國民利便に適合するやに付國民をして判斷せしむべく其の行動の公明ならむことを希望する次第に有之候。

友邦支那は年中行事の如くに内亂を起し兵燹絶へたること無之、吾人をして武人劇を觀るが如き感を起さしめ申候得共、此の如きは東洋の發展上楚に遺憾とする所に有之、今回の内亂も亦奉天軍の勝利に依りて小康を得たるものゝ如くに候得共、事の茲に至れる其の過根を去除するに非ざれば同國の内亂は遂に終熄すること無之と存候、由來同國に於ける軍閥は中央政府の任命なく恣に租税を徵收して私兵を養成し、各地に割據して中央政府の制令を守らず互に爭鬪を事とし、有害無益の内亂の爲に國民を塗炭の苦

境に陥らしめ、兄弟血を以て相争ふの慘狀を繰返しつゝあるは何れも皆軍閥の罪と可申、是等軍閥を根底より驅逐することが同國の平和を維持する唯一の手段と被考候、固より同國に於ても吾人と同様の見解を持し軍閥の横暴を呪咀し、之に對抗して自衛兵團を組織し聯省自治の制を布かむとするもの有之趣に候得共、其の勢力微弱にして天下を制定するに至らず、矢張り銃劔を以て天下を統御せむとする軍閥と、之を打破し自由主義資本主義を以て國家を形成せむとする有資産階級者と、社會革命を主張する無産階級者が三つ巴と爲つて抗争致居候に付、結局此三者の内何れか一を以て統一するに非ざれば支那の治平天下を觀るは難きことと被存候、軍閥の力を以て天下を統一することは從來屢繰返されたる所なるも、一として成効したるもの無之候に付資本を以てするか思想を以てするかに有之候得共、氣の毒ながら同國青年革命家の夢幻するが如き資本又は思想を以てしては到底根底の深き軍閥を艾除すること不可能に有之勃、従つて矢張り軍閥には武力を以て當るより外無之、

その武力も亦民國自身の手を以てしては不可能なるを以て他國に委託して其の禍根を絶ち、革命家の手に依つて天下を統一することこそ支那自身の利益に非ざるかと存候。

支那内亂の餘波は滿蒙に於ける我が特殊の地位と在留民十萬の生命財産に影響する所尠なからざるを以て、政府は兼て缺員中に屬する守備軍を補充致候、之を難する者は出兵に依つて東洋の平和を攪亂し帝國の特殊地位を不利益ならしむるを以て、我が國權が侵害せられ我國民が危殆に陥りたる場合に於て始めて出兵すべきことを主張し、政府外交の拙劣なりしことを攻撃致居候得共、今回の出兵たる名は出兵に異ならざるも其の實は既定守備軍の補充に在るを以て戰鬪的目的に出でたる出兵に無之、出兵の名に依つて東洋の平和を攪亂し列國の疑惑を招くが如きこと無かるべし爲にする者の言動と言ふべく、若し危險に陥りて始めて出兵するが如きは吾人同胞の生命と財産を確保する所以に非ざるを以て、出兵は當然すぎる程當然のこととして吾人は政府の措置に贊するものに御座候。

當地に於ける支那在留學生共が此出兵を目して支那の内政に干渉するものとし騒ぎ居候得共、是等も亦出兵の理由と其の内容を辨へず支那人通有の誇張的慷慨と可申候、自國の權利利益を擁護するが爲には他國の内政に干渉するも不法に非ざることとは國際公法の許す所に有之、内政不干渉を要求するには自國の權力を以て在留外人の擁護に力めたる上始めて要求し得べき合理なるに拘はらず、自は其の義務を履行せず其の權力頼むに足らずとせば、法の許す手段に出ずる亦已むを得ざる所、唯だ我は外交の關係上之を爲さざるに止まる、之を尙内政の干渉と言ふが如きは事を強ゆる甚敷ものと可申候、我國の正義公平なる行動は自ら判明する時機も可有之と存候に付之を監視すれば足る義と存候、唯だ注意すべきは我國民が徒に戰爭氣分に走らず、派遣軍亦其の消極的任務に力め支那人には勿論外國の誤解を招かざる様致度事に御座候。

財政を堅縮するは固より吾人の望む所に候得共、之が名目の下に時代の要求に反して無理な行政整理を爲すべから

ざることは一再ならず吾人の主張したる所に有之、行政機關存置の效果に鑑る所なく僅少の經費を節するが爲道路會議又は港灣調査會等の機關を廢止することの不合理にして何時かは復活すべきことを言明致置候處、今回港灣調査會の復活を觀るに至り候は、吾人の所論誤らざりしことを表明し痛快に不堪候、港灣調査會の廢止されてより今日に至るまでに要すべかりし經費と、是れ無かりしが爲受けたる港灣行政の進展とを計量するときは思半ばに過ぐるもの有之、事業其のものに就いて是非を論議すべき餘地あるにせよ彼の東京築港京濱運河の如きは調査會廢止期間に於ける重大案件にして、之に關し朝野の意見區々に岐れたるに拘はず政府の態度曖昧なりしが如きは全く調査會を有せざりしに因る義と被存候、歴代の内閣を組織する者が在野當時に爲したる皮想的言明に執着して、遮二無二事を斷行することは國家生活上之れ程不得策なることは無之吾人の贊せざる所に有之、今回の復活はせめて往時の惡政を矯むるものとして吾人の歡迎する所、道路會議も亦之に倣つて一

日も速に復活せむことを切望して已まざる次第に御座候。

歳末に於ける交通の繁劇に伴ひ交通事故頻出する從來の經過に鑑み、警視廳交通課は事故防止の宣傳に力め、東京市道路局も亦年中堀返し通しの街路工事を、舊臘二十日を以て一切中止し相共に交通事故の防止に力め申候、殊に市は無言の警官とまで言ふべき照明燈の設備に全力を注ぎたるものゝ如く、交通頻繁なる暗黒箇所にて其の施設の行き届けるを觀て、當然の事とは申ながら吾人は當局の勞苦を多とするものに御座候、當局者の語る所に依れば事故發生の根本原因は通行者の不注意に依るものなるが故に、通行者が互に注意し互讓の徳義を持すれば其の結果なきに至ることのことに有之候得共、道路交通に於ける危険を防止するの施設を爲さずして通行者にそのことを望むは無理な點も可

行の被考候處、今回は兎角連絡を缺き勝ちなる道路管理者對警察官の關係を圓滿にして、交通警察權を有する警視廳が權力動作を慎み一般通行者の注意を喚起し、道路管理者が普通に視るが如き道路其のものゝ維持築造に偏せず交通

上の危害防止設備に力めたるは近來になき官憲の成效と申すべく、一は市民の惡路に善處する指針を示し一は市長の惡路に對する責任を軽減することに可相成、此くして吾人の道路交通に於ける危惧の念を除却軽減するを得たるは、之を實行したる道路局長牧博士と警視廳藤岡交通課長に深甚の謝辭を呈する次第に御座候。

内務省土木試験所の業務範圍は擴張され從來専ら道路に關する試験を執行したるものが、更に今回河川港灣に關する工事の試験を執行することゝ相成、益發展の域に進向せむとするは吾人の慶賀する處に御座候得共、徒に業務範圍を擴張して何れの業務に就ても淺薄なる研究に終り其の濫奥を究むる能はざる如きは吾人の亦賞せざる處に御座候、同試験所は當初道路試験を執行する爲に計畫され其の名稱も亦道路試験所と言ふに在りしが如く聞及候得共、將來を想ふて一般土木に關する試験を執行することに變更されるやに承り居、理想よりするときは適當なる變更に候得共唯だ其の理想を實現する時機は大に考慮せざるべからざる

ことに屬し、吾人は其の本來の使命たる道路試験に付相當

の成績を擧げたる上に於て爲すべきことと存候、我國に於ける道路試験は軌近の創始に屬し復興局東京市又は大阪市等に於て専門的に實行致居候得共、未だ左程の効果を收めず内務省試験所亦同一にして開所以來纔に一回の試験成績を公表したるに過ぎざる今日、尙他に手を延ばさむとする如きは吾人をして其の前途を疑はしめ申候、巷間傳ふるが如く古き技術家を優遇するが爲に此舉に出でたるものとせば吾人は我が路政の爲に其非を鳴らさるべからず候、蓋し道路河川港灣の工事に使用すべき材料、又は是等の技術に關しては互に通有性を有するもの尠なからざるは申迄も無きことに有之候得共、河川又は港灣の専門技術家に道路技術を要求することは、假令木に椽て魚を求むるの類に非ずとするも至難なることに有之、若し風説にして事實ならむか折角樹立せられた我國最初の試たる道路試験の事業は遂に當初の目的を根底より破壊され畫餅に歸すべきは疑を容れざる所、吾人は事の風説に終らむことを切望して已ま

ざる次第に有之候。

地方議會終了して其の顛末の報告やら原案執行の指揮を受くるが爲に、内務省に出頭する地方長官も尠なからず見受けられ、年末の繁忙に加へて省内は誤駄返り居申候、是等地方大官に會見して地方路政の概況を聞くに財政緊縮の前言を爲さざるものは殆ど無之、事是れ消極に力めたることを揚言致居候得共、其の言葉の終らざる裡に新に府縣道の認定を爲したることを申候連中も尠なからず、吾人をして片腹痛き感を起さしめ申候、財政緊縮主義の下に道路費用を節し否な不合理な削減を爲す一方、道路の費用を増加する道路の認定を爲す如きは矛盾も亦甚數ことに有之、前者は政府の方針に餘儀なくされ後者は地方政黨員の強制に出でたるものにして、此矛盾をも尙忍んで爲さるべからざる地方長官の苦痛は同情する所に御座候得共、吾人は是等の批政を排してこそ現内閣の緊縮方針に合致するものと存候に付、道路費用を節したる府縣の道路認定は絶対に認可せざる様、内務當局の決心を促し是にて擱筆致候。敬具